

# 令和3年度事業計画書

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

種 別	概 要
令和3年度事業計画 1. 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響が終息するまで、適切な配慮のもと、定款に定められた公益事業の推進を着実に行う。</li> <li>・公益事業の推進にあたって、新型コロナウイルスの影響を考慮するとともに、終息後の社会状況や公益事業へ対応する新しいスタイルを検討する。 (新型コロナウイルスの影響が終息するまで、当該影響関連事項は適宜理事会で検討する。)</li> </ul>
2. 管理分野の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により減少した会費収入や寄附金の収入増を目指し、公益事業の財源確保と収支健全化を目指す。</li> <li>・引き続き、公益事業のため、会員増に取り組むと共に、組織・制度の検討を続ける。</li> <li>・当法人の諸活動に関し、定款、基本方針、コンプライアンス等の見地から随時検討、調整に務める。リモートワークで事務局業務を行えるように努める。</li> <li>・リモート会議の活用につとめ、評議員会、部会の活性化とともに会員参加型事業推進の定着に務める。</li> </ul>
3. 公益事業の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道等の行政組織やボランティア、企業、団体などとのタイアップによる公益事業活動の充実に務める。</li> </ul>
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の公益事業実施の成果と反省を今年度事業推進に活かす。</li> <li>・「北海道 NOW のインフォメーション」の頁などを活用し「企業、団体とのタイアップによる公益事業の推進体制」を研究する。</li> <li>・下記分野ごとに部会で随時具体的な公益事業を企画し推進する。</li> </ul>
	<p>(1) 北海道等のための広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道情報紙「北海道 NOW」(本紙年 11 回)を発行する。</li> <li>・引き続き、道内各自治体の紹介ページ(ふるさと納税なども紹介)を継続するとともに、増ページやさらなる拡充、HP 版の発行の為の業務を続ける。</li> <li>・北海道のため「インフォメーション」の頁などで北海道等(行政や各種団体)の広報を行う。(昨年開設された「ウポポイ」の広報なども行う。)</li> <li>・「北海道 NOW」の会員配布、北海道情報ラックでの配布を行う。</li> <li>・HP の活用や北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。</li> <li>・昨年度刊行した「北海道の市と町と村」の本年度版の刊行(WEB)を目指す。</li> </ul>
地域活性化事業支援	<p>(2) 北海道等が主催・共催・後援する地域活性化事業の支援活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「北方領土隣接地域振興対策根室地域協議会(北海道と根室地域 1 市 4 町で構成)」、「NPO 法人 住んでみたい北海道推進会議(正・団体会員 2 百以上で構成)」など、北海道等から依頼される地域視察、地域振興、イベント等に協力する。</li> </ul>
北方領土返還運動	<p>(3) 北方領土返還運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北方領土返還要求運動「ブラウンリボンバッジ」の頒布を行う。</li> <li>・北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜バッジ」の頒布を行う。</li> <li>・北方領土返還森繁久弥作詞・唄「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」CD の頒布を行う。</li> <li>・北方領土返還の広報活動を情報紙「北海道 NOW」や各種イベントで実施する。</li> <li>・内閣府(含む倶楽部)などが実行委員会を構成している「北方領土返還要求全国大会」(2月7日、北方領土の日)が開催される場合は参加する。</li> </ul>

種 別	概 要
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根室市等が主催し全国 70 団体余が参加する「北方領土返還要求中央アピール行進」(12 月 1 日、銀座行進) が開催される場合は参加する。(昨年度は中止)</li> <li>・北海道情報紙「北海道 NOW」(年 11 回) 配布、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、交流イベントなど各種イベントや講演会などを通じて北方領土返還運動キャンペーンの広報活動を行う。</li> </ul>
ふるさと納税	<p>(4) 北海道等へのふるさと納税等寄附の推進運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度も広報活動・情報発信に活動の主体をおく。北海道情報紙「北海道 NOW」での道内自治体のふるさと納税の紹介、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、各種イベント他で北海道等へのふるさと納税等寄附の推進キャンペーン活動を行う。</li> </ul>
新幹線早期実現	<p>(5) 北海道新幹線早期実現運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。</li> <li>・北海道情報紙「北海道 NOW」発行、北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布、各種イベントで北海道新幹線早期実現運動のキャンペーン・広報活動を行う。</li> </ul>
北海道情報紙 特別講演会の開催 外部イベント等への参加	<p>(6) 上記各号の実施・推進にあたっては、下記の手法・方策等を総合的に適用し推進する。(一部重複・再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道情報紙「北海道 NOW」(本紙年 11 回) を発行する。</li> <li>・北海道情報ラックの設置とコンテンツの配布を行う。</li> <li>・倶楽部の事業に関連したテーマで WEB 特別講演会を開催する。</li> <li>・北海道応援団会議に参加し協力する。</li> </ul>
前年度事業との変更点等 ・新型コロナウイルスの影響 による事業計画の変更 ・終息後の社会状況や公益事 業への対応 (新型コロナウイルスや財源 の状況の変化で理事会で今後 別途決議した場合は変更す る。)	<p>(1) 北海道倶楽部が主催していた飲食を伴う対面型イベントの開催 キャンペーン(北方領土返還・ふるさと納税・新幹線早期実現)をテーマに「新年交礼会」夏に「交流の夕べ」秋に「交流イベント」を開催してきたが、本年は以下の通りとする。</p> <p>(但し、新型コロナウイルスの影響により理事会で開催、中止について別途決議した場合は変更する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新年交礼会」は新型コロナウイルスの影響により開催を見合わせる。</li> <li>・8 月の「交流の夕べ」、10 月の「交流イベント」は高齢者が多いので新型コロナウイルス感染状況や事業運営への対応を充分行った上開催する。</li> </ul> <p>(換気、手洗い・手指消毒、マスク・フェースガード着用、大声を出さないなどの感染予防対策や会場の広さや食事の質・量やアトラクション・開催時間、事前予約や会費の事前納付などの運営方法に十分な対応をする。)</p> <p>(2) 他が主催するイベント等への参加ほか 以下のイベント等は開催が未定であるが、以下の対応とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代々木の北海道フェア参加と併せて発行している「北海道 NOW」(増刊号)は当面不参加とする。</li> <li>・「ふるさと北海道応援フォーラム」への参加及び後援等。実施された場合は参加、後援する。</li> </ul>
4. 新型コロナウイルスの終息後の対応他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの終息後の倶楽部の事業の再構築を検討する。</li> <li>・会員数の増強、寄附金増の方策、中断した対面型イベントに対する対応など。</li> </ul>

種 別	概 要	予定時期
別表 <b>公益事業計画</b> <b>時期別一覧表</b>  ・ イベント・講演会等は HP などでは会員外、一般へ参加案内します。  ・ 部会対応 事業内容の詳細は担当の部会で今後検討し実施します。  ・ 新型コロナウイルスや財源の状況の変化で理事会で今後別途決議した場合は変更する。	新年交礼会（開催見合わせ） 北方領土返還推進運動「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」キャンペーン 北海道新幹線早期実現「新幹線バッジ」キャンペーン 「ふるさと納税推進」キャンペーン 上記キャンペーン集会の年初スタート交流事業。	(例年開催1月)
	「北方領土返還要求全国大会」（北方領土の日） 「北方領土返還要求中央アピール行進」	(例年開催時期) 2月7日 12月1日
	交流のタベ キャンペーン、北海道等の広報を目的とした夏の交流事業。	8月4日予定
	交流イベント 「We Love Hokkaido」（旧道産子の会） キャンペーン、公益事業の広報。	10月26日 予定
	WEB 講演会、シンポジウムの開催 対面型を避け WEB によりリモート開催する。当倶楽部の公益事業と関連した講演テーマを検討する。会員間の交流にも役立つが、当然一般も参加出来、無料とする。 （講演テーマ、行政との協調などにより公共性のあるものとし、HPなどで一般参加を呼びかける。）	未定（講師、会場等のスケジュールによる）
	キャンペーンバッジ頒布 ・ 北方領土返還要求運動の頒布を行う。 ・ 北方領土返還要求運動のシンボル「千島桜バッジ」の頒布を行う。 ・ 北海道新幹線早期実現運動「新幹線バッジ」の頒布を行う。	随時
	情報紙「北海道"NOW"」の発行・配布 倶楽部の事業に係る広報のため、情報紙「北海道"NOW"」本紙年11回）を発行する。前年配布の成果を踏まえ、配布先・配布方法、編集内容、発行体制を整備。一般配布（有料 月額80円）有り。 「北海道の市町村をご紹介」及び「北海道"NOW"information」を引き続き本年も掲載する。	毎月
	WEB 版「北海道の市と町と村をご紹介」の発行 情報紙「北海道"NOW"」に連載している1年分の22の市町村情報をまとめ小冊子形式にして発行する。 HP で一般の無料閲覧が可能。	12月
	北海道情報ラックに北海道情報を配布 引き続き北海道関連情報を設置先情報ラックに無料配布する。	
	ホームページでの広報 倶楽部、公益事業の広報のため、内容の充実・更新に務める。	毎月
その他 倶楽部内交流の同好会の活動に協力。（独立運営・独立会計、北星会（ゴルフ））	随時	

# 令和3年度収支予算書

<ul style="list-style-type: none"> <li>・会費収入は法人会計に50%振り分けた。(会費規程第6条)</li> <li>・給料手当、法定福利費、退職給付繰入額は従事割合(40%)により、法人会計に振り分けた。個別部門の給料手当は各個別部門で負担した。</li> <li>・通信費の内、電話及びインターネット費用は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。他は各個別部門で負担した。</li> <li>・賃借料は使用割合(40%)により、法人会計に振り分けた。</li> <li>・その他諸費用は個別部門に配賦したもの以外は40%を法人会計に振り分けた。</li> </ul>		公益事業会計	法人会計	[T]公益・法人総計(合計)
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
経常収益 (収入)	(1) 経常収益 [収入]			
	受取会費 (入会金)	10,000	10,000	20,000
	(正会員会費収入)	1,075,000	1,075,000	2,150,000
	(維持会員会費収入)	2,685,000	2,685,000	5,370,000
	事業収入 (広告収入)	1,011,380	0	1,011,380
	(交流、キャンペーン等収入)	1,574,413	982,520	2,556,933
	受取寄付金 (寄附・協賛金)	2,748,000	0	2,748,000
	受取利息	0	76	76
	雑収入	0	15,162	15,162
	経常収入計 (収入高合計)	<b>9,103,793</b>	<b>4,767,758</b>	<b>13,871,551</b>
経常費用 (事業費・管理費)	(2) 経常費用[事業費・管理費]	<b>事業費</b>	<b>管理費</b>	
	給料手当	3,788,890	2,525,927	6,314,817
	法定福利費	257,646	171,764	429,410
	退職給付繰入額	45,000	30,000	75,000
	外注費	2,909,776	88,600	2,998,376
	荷造運賃	66,512	119,622	186,134
	会議費	23,328	42,960	66,288
	旅費交通費	27,990	7,560	35,550
	通信費	804,943	271,406	1,076,349
	会合費	1,387,119	924,746	2,311,865
	消耗品費	185,251	117,276	302,527
	新聞図書費	106,014	0	106,014
	賃借料	81,453	54,302	135,755
雑費	156,063	184,477	340,540	
経常費用計 (事業費・管理費計)	<b>9,839,985</b>	<b>4,538,640</b>	<b>14,378,625</b>	
当期経常増減額 (事業損益金額)	<b>-736,191</b>	<b>229,118</b>	<b>-507,074</b>	
当期一般正味財産増減額 (当期純損益金額)				<b>-507,074</b>
※一般正味財産期首残高			※	<b>5,207,732</b>
一般正味財産期末残高				<b>4,700,659</b>
正味財産期末残高				<b>4,700,659</b>

※令和2年度仮決算で求めた値